



TBSホールディングス<9401>、マーケティング事業のWACUL<4173>をTOBで子会社化



TBSホールディングスは、マーケティングDX（デジタルトランスフォーメーション）支援サービスを手がけるWACULのマーケティングやデータ戦略のノウハウを取り込み、2023年10月に提供を開始したIDサービス「TBSグループID」の高度なデータ分析やグループ横断的なマーケティング戦略を強化する。一方、WACULはTBSホールディングスのグループファイナンスの活用による財政改善を期待している。

買付価格は1株につき502円で、公表前営業日の終値268円に対して87.31%のプレミアムとなる。WACULはTOB（株式公開買い付け）に賛同の意見を表明したが、TOBに応募するかどうかの判断は株主に委ねることを決めた。TOBが成立すればWACULの東証グロース市場への上場は廃止となる見通し。

買付予定数は778万8340株で、下限は518万200株（所有割合66.51%）。買付代金は約39億円。

買付期間は2025年4月11日から5月29日までの32営業日。決済の開始日は6月5日。公開買付代理人は東海東京証券。

WACULは2010年に設立し、デジタルマーケティング関連のコンサルティング事業を開始。2014年にアクセス解析データ分析レポートサービスを始め、SEO（検索エンジン最適化）、広告運用代行、人材マッチング事業などを展開。2021年3月に東証マザーズ市場に上場（2022年4月に東証グロース市場に移行）。